



七ツ森地域交流センター条例の制定、採決の様子

子育て世帯を手厚く支援 平成30年度

総額155億9,211万6千円を可決

30年3月定例会は、2月22日から3月14 日まで21日間の会期で行われました。

予算特別委員会(委員長・横手寿明、副委 員長・川口一男)は、9件の30年度当初予 算を審査し、すべて原案のとおり可決しまし

本定例会では、条例制定案を1件と一部改 正案1件を否決し、その他の案件53件と同 意案件11件は全て原案通り可決しました。 一般質問は、10名が登壇し、町当局への考 えをただしました。

平成 30 年度各会計当初予算

会 計 名	予 算 額	対前年比
一般会計	92億4,000万0千円	1億0万0千円
国民健康保険特別会計	18億8,800万0千円	▲4億7,500万0千円
御明神財産区特別会計	2,287万6千円	1,184万2千円
介護保険事業勘定特別会計	18億7,762万6千円	3,212万5千円
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	850万2千円	▲ 400 万 9 千円
雫石町立雫石診療所特別会計	3億8,787万1千円	363万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億6,200万0千円	970万2千円
水道事業会計	5億4,562万6千円	▲ 2 億 4,175 万 5 千円
下水道事業会計	14億5,961万5千円	3,208万8千円
総合計	155 億 9,211 万 6 千円	▲ 5 億 3,136 万 8 千円

100

限られた予算

議会はここに注目

七ツ森地域交流センター条例の 制定を否決

賛成 7 反対 7の可否同数



議長裁決により否決

七ツ森ヴィレッジの地域交流センターの設置および管 理に関し必要な事項を定める条例案は、町がレストラン などを含むセンターの運営業務を指定管理者による管理 などを決めるもの。条例制定に関しては、議論がまだ必 要ということから賛否が分かれ、議長による裁決で否決 となった。

反対討論【大村昭東議員】

この施設は無資格業者と契約を締結して工事を施工し ていることが明らかだが、当局には速やかに是正しよう とする姿勢が見られない。建設工事の違法性を是正して からではないと条例の制定を認めることはできない。 [他に加藤眞純議員が反対討論をしました]

賛成討論【杉澤敏明議員】

これまでも議論を重ね、その都度議決もして進めてき た事業である。完成したこの施設を使っていかなければ ならないという状況である。設置条例を制定し、施設を 使っていくということは当然の流れではないか。

特別職の職員で常勤のものの 給与に関する条例の一部改正について

賛成 6 反対 8 により否決

30年の4月1カ月分の町長の給料額を30パーセ ント、副町長の給料額を20パーセント減額するため、 条例の一部改正をするもの。

反対討論【加藤眞純議員】

町長は1カ月の給与減額ではなく、進退問題にまで発 展する重大なことである。監査結果が出され半年経つが、 重大さが分かっていない。住民が納得するような説明責 任を果たしてほしい。

〔他に大村昭東議員が反対討論をしました〕

子育て支援

~4 月からこうなります~

●小中学校の給食費半額助成

「子育てが楽しくなるまち」を基本テーマとし、町が、 小中学校給食費の半額を助成することにより子育て世代 への支援の一つとするもの。



町が誇る自校方式での給食

●子ども子育ての在宅支援

6カ月から3歳未満の子どもを在宅で育児を行う人へ の支援をすることとして、月額5.000円分の商品券の 支給を行い、「子育て」を支える体制強化をするもの。

●子ども子育ての支援課設置

保育から学校教育までの一元化を図り、子育てニーズ に沿ったサービスを行うなどの支援強化をするもの。

●雫石町奨学資金貸付条例の一部改正

経済的理由により修学困難な者に対し奨学資金を貸し 付ける制度の対象者を拡大するもの。

平成29年度一般会計補正予算(主なもの)

【第 10 号】

補正前の額	補正額	計
102億5,302万5千円	105億8,688万8千円	
主な内訳		

■老人憩の家管理運営事業

▲139万6千円

■御所小学校体育館新築工事

3億6,288万2千円

【第11号】

補正前の額	補正額	計
105億8,688万8千円	106億5,482万0千円	

■道路除排雪業務委託料(増)

6,336万5千円

予算全般に4日間の活発な質疑

Wi-Fi 設置の内容は



【上野委員】役場庁舎内に公衆無線 LAN(Wi-Fi) を設置するとあるが、目的と設置工事費の内容 は。



【総務課長】今までは線でつながったパソコン の利用しかできなかったが、Wi-Fi の設置によ り、庁内会議室、ロビー等でも通信可能な機器 を使える。工事費として23万7千円、通信 費として 50 万円ほど。庁舎内 LAN 全ての保 守委託として約208万円である。

移住促進に係る金額は



【山崎委員】移住促進に係る、今までと新年度 合わせた金額は。



【企画財政課長】今、移住したいという方には、 住まいが問題、もう一つは仕事である。移住関 連業務は、27年度から29年度までの3カ年 で、6.780万円ほどで、町の持ち出しは、約 400万円である。

保育所は今後どうする



【上野委員】現在、町内には、町営、民営、公 設民営の保育所があるが、今後はどうする考え か。



【総合福祉課長】保育所は、町立が2カ所、町 立で指定管理をしているのが1カ所、私立が 3カ所、へき地保育所が2カ所ある。このうち、 指定管理の七ツ森保育所については31年度に 民営化する方向で、30年度に所要の事務を進 めていく。そのほかについても今後、民営化を 考えていきたい。

老人憩の家、今後の運営は



【山崎委員】老人憩の家は、4年前にも老朽化 で町では検討するとしていたが、今後の見通し は。



【環境対策課長】30年度に、継続かあるいは 大規模改修、または廃止、譲渡等のさまざまな 選択肢から総合的に早急に判断していく。



60歳以上の町民、障害者が無料の老人憩の家 •••••••••

火葬場の除雪体制は



【西田委員】火葬場の管理運営について、除雪 の体制は。



【環境対策課長】通常はある程度の区域の除雪 は委託している。参列者の人数等を勘案し、広 く必要なときは地域整備課に依頼している。

ごみの減量化は



【杉澤委員】30年度のごみ総排出量の減量化 は、どのように取り組むのか。



【環境対策課長】これまで広報による啓発、資 源回収への奨励金など 10 項目ほど取り組んで きた。広報については、例えば若年層向けの内 容、表現といった周知啓発の対象を絞って実施 するなど広報の仕方を工夫していく。また、資 源ごみの回収については地域、子供会での取り 組みを促進し、ごみの減量化あるいは資源化に つなげていく。







若者雇用拡大奨励金の内容は



【岩持委員】若者雇用拡大奨励金は、最初は 150万円、昨年は75万円、今年は50万円 と減っているが、どういう事業になっているか。



【観光商工課長】新卒者の地元就職、町外から のリターン、Iターン者の新卒者を雇用した企 業に、1人当たり5万円を支給するもの。

.....

電気柵設置補助金は十分か



【西田委員】有害鳥獣対策としての電気柵設置 の補助金は、予算額枠を越えれば打ち切りにな るのか。



【農林課長】昨年度は、当初予算65万円、60 万円増額して 125 万円計上したところで、今 年度当初 125 万円で青天井という訳にはいか ない。

いわて雪まつりの負担金は



【西田委員】30年度当初予算に「いわて雪ま つり」の開催負担金が無いのはなぜか。



【観光商工課長】1月末まで事業費の積算に苦 慮しながら第51回を開催した経緯がある。 30年度当初予算には見込まずに4月、5月に 事業内容を分析し十分に検討した上で6月補 正に計上し、7月の実行委員会総会までに次回 開催の方向性を見いだしたい。



大勢の来場者でにぎわった最終日

レストラン雫のテナント募集は



【谷地委員】レストラン雫を3月で閉め、テナ ント募集する際、入居者に指定管理をさせるの か、㈱しずくいしがテナントを募集するのか。



【観光商工課長】今後㈱しずくいしへの指定管 理は、レストラン雫を切り離した形で協定を結 ぶ考えで、レストラン雫は改めて町が新たに指 定管理者を公募して、それなりに経費を見込み ながらお願いしていく。



現在公募中の駅内レストラン

新たに町道を除雪委託路線に



【西田委員】除雪していない町道を新たに除雪 委託路線に組み込むにはどうすればよいか。



【地域整備課長】除雪シーズン前の要望は、そ の年の除雪の路線を決める際に組み込むかどう かを判断する。シーズン中の要望は積雪状況と 路線を確認して判断する。

西山小学校駐車場確保は



【山崎委員】統合する西山小学校の駐車場確保 はどうなるのか。



【学校教育課長】初めに放課後児童クラブを整 備し、その後に学校農園等整備後、校舎北側の 敷地を有効活用できるように駐車場を整備する。

学校給食費助成、一定期間を設けては



【上野委員】学校給食費の2分の1助成は、地 産地消や食のあり方等教育に結びつくよう、恒 常的ではなく、一定の期間で検討してはどうか。



【学校教育課長】町税を使って2分の1助成を 行うことで、町民が児童生徒を支えていく精神 を根付かせ、今後は児童生徒と町民との関係を 構築したい。地域住民と協働で教育環境を進化 させるという観点から、期間を区切ることは考 えていない。



子どもたちが喜ぶ給食タイム

収納率が下がっているのは



【石亀委員】国保税の改定値上げや、一般会計 からの法定外繰入れは、収納率が下がっている からではないか。行政力、職員力に問題がある。



【税務課長】28年度の収納率は95.34パー セントで、25年度対比で若干下がっている。 23 年度以降は 95 パーセント台を維持してお り、更に努力する。

滞納者の差し押さえ件数は



【山崎委員】国保税滞納者に対する差し押さえ が、28年度165件と多い。当該者の生活を 把握しているのか。



【税務課長】納税者の生活を破壊しないよう、 納められる範囲で差し押さえている。

経営改善計画を示せ



【加藤委員】雫石診療所の一般会計からの繰入 金1億数千万円は、永久に解消されないのでは ないか。経営改善計画を示せ。



【健康推進課長】糖尿病など慢性疾患患者を対 象に、健康推進外来などを増やし、外来収入を 確保する取り組みを工夫する。



雫石診療所の待合室

介護給付金の廃目はなぜか



【岩持委員】介護給付金が前年度9,411万円 ほどであったが、廃目としたのはなぜか。



【町民課長】制度改革により、国保事業費納付 金の中に、介護給付金として計上している。

雫石の将来像は



【岩持委員】予算編成は将来を見通せ、希望を 持てるものではなければならないと思うが、町 長のリーダーシップが見えない。町長は、多く の課題がある雫石をどのようにしたいのか。



【町長】基本的には、財政安定化を図り事業を 進めていくべきと考える。

26年に人口対策、官学民連携プロジェクト、 地域別計画策定の3つの新構想を立て、順調に 計画を進めてきており、職員の総力を結集して 地域の方々とも話し合いをしながら、新しい時 代へ町の計画をつくり上げ、住民主役のまちづ くりを変わらずに進めていく。

町職員の定員適正化は



【加藤委員】県内市町村データ比較では、職員 数は 12 番目に多く、平均の 1.5 倍である。 この実態をどう捉えて職員の適正化、あるいは 組織再編を進めているのか。



【副町長】部門ごとの町民ニーズ、業務、事務 事業といった内容で職員力が必要であるとして 配置をしている。定員管理の適正化に配慮しな がら進めてきているが、部門によっては専門職 の登用も必要になってきている。

職員の組織体制についても、町民ニーズを取 りまとめ、環境の変化等を勘案しながら効率的 な組織体制、効果的な事務事業について取り組 んでいく。

討論要旨

反対討論【西田征洋議員】

町財政の根本である地方債残高を増やしており財政政 策が不安である。また、物価上昇などで町民の生活苦が 増大する中、国民健康保険税や介護保険税の値上げをし ようとしておりいかがなものか。

[他に山崎留美子議員、加藤眞純議員、大村昭東議員が 反対討論をしました〕

賛成討論【村田厚生議員】

本町の重要課題である子育て支援事業を重要事業と捉 えた予算である。積極的な予算編成の中でも、各種基金 の確保や計画的な町債の活用に取り組んでおり、財政健 全化の点からも評価できる。

〔他に堂前義信議員、杉澤敏明議員、上野三四二議員が 賛成討論をしました]

平成30年 雫石町議会第1回臨時会

平成30年第1回臨時会が2月9日に開催され、専決 処分の報告 1 件と平成 29 年度雫石町一般会計補正予算 (第9号) について、審議しました。

平成 29 年度一般会計補正予算(第9号)

補正前の額	計	
101億9,157万3千円	6,145万2千円	102億5,302万5千円

主な内訳

- ■道路徐排雪業務委託料(増)
- 5,176万9千円 800万0千円
- ■いわて雪まつり開催負担金(増)

平成 30 年第 1 回雫石町議会臨時会 議決結果等一覧 会期:2月9日(金)

議案等番 号	議員名 件名	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
議 案 第 1 号	平成29年度雫石町一般会計補正予算(第9号)	0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	•	0	0	•	可

○…賛成、●…反対 ※前田議長は採決には加わりません。

議会の傍聴においでください

次の定例会は、6月8日(金) 午前10時開会(予定)です。 インターネットでもご覧になれます。

雫石町役場ホームページまたは、下記のアドレスからご覧ください。

公開用 URL http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/

平成 30 年第 2 回雫石町議会 3 月定例会 会期: 2月 22日(木)~3月 14日(水)

1 120 0	DU 千年 2 四千1回 議去 3 月 上 別去 云舟・2 月						-	- Ц	(/[/	,						
議案等	議員名	堂前	横手	岩持	山崎留	杉澤	川口	西田	谷地	村田!	石亀	大村	上野三	坂下	加藤眞純	採決結果
番号	件名	義信	寿明	清美	留美子	敏明	男	征洋	善和	厚生	貢	昭東	四三	栄一	真純	結果
議 案 第 1 号	七ツ森地域交流センター条例の制定について	0	0	•	•	0	•	•	0	0	0	•	0	•	•	否
議 案 第 2 号	雫石町債権管理条例の制定について	0	0	0	•	0	\circ	•	0	0	0	\circ	0	0	•	可
議 案 第 3 号	零石町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定 める条例の制定について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0		0	可
議 案 第 4 号	雫石町空家等の適切な管理に関する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 5 号	高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理等 に関する条例の制定について	0	0		0	0	0	•	0	0	0	0	0		0	可
議 案 第 6 号	零石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する 基準を定める条例の全部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 7 号	零石町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営 並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果 的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 8 号	零石町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防 支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を 定める条例の全部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 9 号	雫石町課設置条例の一部改正について	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	可
議 案 第10号	零石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	0	0	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0		•	可
議 案 第11号	雫石町証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第12号	零石町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	0	0	•	•	0	•	•	•	0	0	•	•	0	•	否
議 案 第 13 号	雫石町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第14号	雫石町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第15号	雫石町国民健康保険条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第16号	雫石町介護保険条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 17 号	零石町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める 条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第18号	しずくいしアグリリサイクルセンター条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第19号	雫石町ふるさと景観条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0	可
議 案 第20号	雫石町奨学資金貸付条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	可
議 案 第21号	雫石町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第22号	雫石町デイサービスセンター条例の廃止について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第23号	雫石町就学指導委員会条例の廃止について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0	可
議 案 第24号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算 (第 10 号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 25 号	平成29年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第26号	平成 29 年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	•	0	•	0	•	可
議 案 第27号	平成 29 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第 3 号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	\circ	0	0	可
議 案 第 28 号	平成 29 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算 (第2号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 29 号	平成29年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第30号	平成 29 年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0		0	可
議 案 第 31 号	平成29年度雫石町水道事業会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第32号	平成 29 年度雫石町下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第33号	平成 30 年度雫石町一般会計予算	0	0	•	•	0	•	•	0	0	0	•	0		•	可

議案等番 号	議員名 件名	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
議 案 第34号	平成 30 年度零石町国民健康保険特別会計予算	0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第35号	平成 30 年度零石町御明神財産区特別会計予算	0	0	0	0	0	0	•	0	0	•	0	•	0	•	可
議 案 第36号	平成 30 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 37 号	平成 30 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	•	可
議 案 第38号	平成30年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	•	可
議 案 第39号	平成 30 年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 40 号	平成 30 年度雫石町水道事業会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 41 号	平成 30 年度雫石町下水道事業会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 42 号	雫石町の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第43号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町老人憩の家鴬宿荘)		0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	•		•	可
議 案 第44号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町南畑地区農林産物処理加工施設)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第45号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町伝統文化保存伝承交流センター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 46 号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町飲料水供給施設(盆花飲料水供給施設))	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 47 号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (しずくいしアグリリサイクルセンター)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第 48 号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町民憩の家鴬宿集会所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第49号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石 町地域交流拠点施設・雫石町農村資源活用施設(総合交流ターミナル 施設))	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第50号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (網張温泉ありね山荘)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第51号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (雫石町総合運動公園等)	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	•	0	0	•	可
議 案 第52号	雫石町税条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第53号	零石町健康センタースプリンクラー設備設置工事の請負契約の締結に 関し議決を求めることについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第54号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可
議 案 第55号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算 (第 11 号)	0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	0	0	0	0	可

○…賛成、●…反対

※前田議長は採決には加わりません。(ただし、可否同数の場合は、議長裁決が行われます。)

同意第 1 号から同意第 11 号「農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて」(11 件) は、 全員賛成により同意しました。新しい雫石町農業委員会委員は下記の通りです。

【任期:平成30年5月15日~平成33年5月14日】

佐々木 秀子さん (58歳・(雫)谷地行政区) 小赤澤 悦子さん(58歳・小赤沢行政区)

八丁野 よし子さん(60歳・八丁野行政区) 上和野 忠一さん(59歳・上和野行政区)

一本木 孝久さん(46歳・天瀬行政区) 木村 正美さん (67歳・下町二行政区)

岡森 喜与一さん(68歳・七区行政区) 山本 長栄さん(65歳・篠崎行政区)

新田 善男さん(66歳・天戸行政区) 上野 哲さん(63歳・大村行政区)

諏訪 剛郎さん(62歳・林行政区)

(年齢は、平成30年4月26日現在)

[※]議案第12号は可否同数で、議長裁決により否決になりました。

質問者 質問内容 掲載頁

3月定例会



かとうますみ 加藤眞純議員

地域再生推進法人の 資格があるか





すぎさわとしあき 杉澤敏明議員

空家等対策計画策定後は

12



かわぐちかず お 川口一男議員

3期目の町長選はいかに

13



やまざき る み こ 山崎留美子議員

長引く低周波騒音被害の 現状は

14



みつぎ いしがめ 貢 議員 石亀

所有者不明土地の 発生防止策は

15



うゎ の み ょ じ **上野三四二議員**

今秋の町長選挙、 どう挑む

16



にしだまさひろ 西田征洋議員

介護保険はどう変わる

17



どうぜんよしのぶ **堂前義信議員**

生活交通対策の取り組みは

18



おおむらしょうとう 大村昭東議員

工事費約1億2千万円の 支払い根拠は

19



いわもちきよ み 岩持清美議員

待機児童の見通しは

20

一般質問は、議員が広く町政に 関し報告や説明を求めたり、疑 問をただしたりするものです。 定例会ごとに実施されており、 質問順は抽選で決定しています。

問 社員のいない「まちづくり会社」は、 町の地域再生推進法人(以下、推進法人と略す) の資格があるのか。

町長 まちづくりの推進を事業目的とする (株コミュニティライフしずくいし(以下、CLS と略す)は、推進法人として指定を受ける要件 を満たしている。

問 CLS は株式会社だから、営利が目 的なのは当然である。ただ、大義名分が地域づ くりでも、営利の見込みがなくなれば手を引く ことになるのでは。社員のいない会社を推進法 人に指定した町はおかしいのでは。最も、当時 CLSの深谷社長が申請して深谷町長が指定する のだから、実態がどうあろうとできたことだ。 本来、他の市町村のように推進法人には営利を 目的としない NPO 法人や公益社団法人の類と すべきで、さらに指定条件に合致する実績等が しっかりあり、その資質があると認められる法 人を指定するべきではないか。

企画財政課長 CLS の他に、*1CCRC 事業、 移住促進事業、地域活性化を図ることを目的と する法人から推進法人の申請があれば、審査を して2つ目の推進法人として指定は可能である。

地域おこし企業人、 要綱に抵触してないか

総務省の要綱には「派遣元企業と請 負契約を結ぶ*2 蓋然性の高い業務に地域おこし 企業人を従事させないなど、公正な職務執行を 確保するために必要な配慮を行うこと」と規定 されている。現在、コミュニティネットからの 企業人は一時引き上げているが、要綱に抵触し ていたのでは。

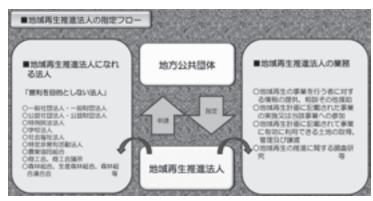
企画財政課長 そのことは確認していな かったが、協定時は総務省に内容を確認して結 んだ。

- *1 CCRC…生涯活躍のまち構想(主に都市部の高齢者 を地方移住促進する)
- *2 蓋然性…確度、確かさ



仕事ではなど 取り合う移り、同じ やを

る要 # 闹 る



地域再生推進法人の指定フロー

空家等対策計画策定後は

町長/総合的に対策を進める



成果が求められるもっと増えるので空家は、

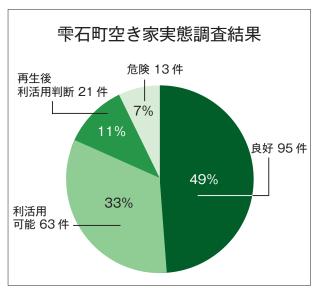
もと、認定要件の解消(所有者による是正や取 り壊し、行政代執行による取り壊し等)に取り 組むなど、総合的に空家対策を行っていく。

問 計画の中に、空家と判断されたもの のうち、危険と判断される物件が13件あると しているが、今後は、特定空家等として行政代 執行で取り壊していくのか。

地域整備課長 27 年度空き家実態調査(目 視での外観調査)で、将来、法整備された時に は、特定空家等に認定されると判断したものが 13 件ある。今回の条例と計画の整備による立入 調査をして、壊さなければならないものは壊し ていくし、壊さなくてもよいものは所有者の意 向も踏まえ、利活用に向けた取り組みをしてい

雫石町空家等対策計画の内容と計画 策定後に実施する取り組みは何か。

計画には、①空家等の適正な管理や 利活用の意識づけを行う、②地域住民参加のも と、民間事業者と連携を図り、空家等の適切な 管理や利活用を推進する、③長期間放置され、 倒壊や火災等の危険性などにより地域住民の生 活環境に悪影響を与える空家は、特定空家等に 認定し、優先的に取り組む、④住民からの相談 に対する取り組みをすること、これら4つを基 本方針として掲げている。今後は、雫石町空家 等の適切な管理に関する条例と空家等対策計画 に基づき、適正な管理を促すための情報提供を 行うほか、特定空家等に認定された利活用が難 しい空家等については、関係機関等との連携の



※調査は、目視による外観調査で、平成27年12月3日 から平成28年3月22日までの時期に実施された。 空家と判断された総数は、192件である。

るよりでのため、 V 3

問 11年間、町民の幸せを願い、また幸 せを感じてくれたら良いと思い議員活動を行っ てきた。町長は、7年4カ月を総括する意味で、 町民の幸せのため何をやったか。

町長 第2次雫石町総合計画を策定し、町 の目指すべき将来像である「みんなが主役 誇 らしく 心豊かなまち しずくいし」の実現に向 け、自主・自立、人材育成、交流・連携の3つ の視点のもと、5つの施策大綱、12の基本施策、 39の施策に取り組んできた。

町政も2期目を振り返ってみれば、大変であっ たと思う。やり残したことも沢山あるのではな いか。ゆえに3期目に継続していくのではない かと私は思っているが、町長の意思はどうか。

町長 政治信条である「みんなが主役 誇ら しく 心豊かなまち」の実現に向け、各分野の諸 施策を確実に推し進めていかなければならない こと、今議会定例会に上程している平成30年 度当初予算の審議、さらに小学校統廃合という 新しい時代に向けた歴史的な事業を確実に遂行 することが、私の使命と責務である。まずは目 の前にある課題を一つ一つ丁寧に取り組んでい くことが大切であると認識しているので、次期 改選についての意思表示については、容赦いた だきたい。

歴史的資料等を展示しては

問 施政方針演述・教育施策方針演述に 小学校跡地の発言がなかったが、統合で閉校と なる各小学校の歴史的資料等を残し展示する会 館等を造る考えはないか。

町長 30年度に新しい屋内運動場を建設予 定の御所小学校には、大村、南畑、安庭小学校 の資料を展示するスペースを予定している。30 年4月に開校する御明神、西山は現校舎を増築 せず使用する予定であり、新たに展示する場所 を設けるのは難しいと思われるが、地域住民の 思いは教育委員会からも聞いている。閉校した 学校の一室を利用するなど企画部門が主導する 跡地利用も話し合いの中で地域の皆さまと協議 し決定していきたい。



閉校になった西根小学校

長引く低周波騒音被害の現状は

町長/話し合いは継続、実施している



何川井林業は立地後約10年を経過 したが、低周波騒音の苦情は今も続いている。 昨年12月、町長名で騒音対策等に対する見解 を伺う文書が川井林業に送られた。工場側では 「25年5月20日の町長との話し合いの結果のと おり、この問題は解決したものと解釈している という回答だった。28年の5月にも同様で、改 善策が講じられない最大の支障となっている。 なぜこういう状態になっているのか。

町長 工場からの騒音が著しいとの苦情等 が寄せられた場合には、現地に出向くなど確認、 指導を行ったり、住民からの騒音低減に関する 要請事項についての検討、改善を依頼するなど、 衛川井林業との話し合いを継続して実施してき ている。

サービス付高齢者住宅は建つのか

問 「七ツ森ヴィレッジで最後まで安心 して暮らし続ける仕組みをつくる会」には、19 名が会員となっている。この中から契約、30年 度では着工ということだが、開発行為の申請手 続きは、どうなっているのか。

企画財政課長 2月にコミュニティネット の社長が来庁し、これから着工に向けて進めて いくという話であった。いつということはまだ 話せないが、事業者のほうもサービス付高齢者 住宅の整備に向けて頑張っていると捉えている。

町が備品を準備した理由は

問 昨年2月10日の臨時会では、レス トランは収益事業なので、まちづくり会社ある いは事業者が備品を購入すると話していた。な ぜ町が1.700万円もかけ、詳細にわたるまでの 備品を準備したのか。

企画財政課長 当初全てまちづくり会社と いうような考えもあったが、指定管理、CCRC 事業を進めていく上で、拠点整備のあり方を検 討したときに、最低限の取りつけの備品、厨房 に係るものについてはこちらで用意していくと いうことで対応した。



完成した七ツ森地域交流拠点施設

問 土地所有者が亡くなり、相続登記さ れず持ち主が不明になっている土地は、引き継 ぐべき人が登記手続を敬遠するなどで生じる例 が多い。国は30年度から自治体と連携して土 地調査を開始するが本町の実態はどうか。

町長 相続人調査で、相続権を持つ方がい ない場合や相続放棄などで所有者不明となった 土地は、町内総登記地積約3億3千万平方メー トルの 0.06 パーセントとなっている。今後も 相続人調査を継続、発生防止に努め国の動向も 注視していく。

㈱しずくいしの決算見通しは

問 21 年度から8期連続で経常損失を計 上しているが、29年度の決算見通しは。

町長極めて憂慮すべき状況で経営の根本 的見通しが喫緊の課題となっている。責任所在 の明確化、組織体制の見直し、企画営業部門の 設置、誘客の営業強化、業務の効率化に取り組 んでるが、今期、経常損失1.090万円の見込み で9期連続の損失計上が避けられない状況であ る。30年3月31日をもってレストラン雫の運 営から撤退し、安定した経営状態に立て直し指 導助言を行う。



驛田舎産直等は今までどおり営業



防 に努める

学習指導要領の改定について

道徳は教科外活動から特別教科に位 置づけられ、他教科に先行して小学校は30年 度から、中学校は31年度から実施される。道 徳の教科化の効果に期待を持てるか。

教育長 評価と質の高い指導を行い、児童 生徒の道徳性を養い、道徳科で学んだことが将 来役立つと共に、明日からの生活に活かされ道 徳的実践が期待できる。

今秋の町長選挙、どう挑む

町長/現時点で意思表示は容赦を



問 今秋の町長改選期を迎えるにあた り、深谷町長自身は3期目に向けた挑戦意欲は どうか。

町長 各分野の諸施策を確実に推し進めて いかなければならない。新しい時代に向けた歴 史的な事業を遂行していくことが私の使命と責 任と考える。現時点で次期改選についての意思 表示は容赦いただきたい。

問 町長は、2期目の任期満了を迎える。 任期中には、東日本大震災や豪雨災害もあり、 その対応や局面する諸課題に取り組んだと思う が、施策ごとを振り返り自らの町政をどう評価 しているか。

町長 第2次町総合計画を策定し、町の目 指すべき将来像である「みんなが主役 誇らし く心豊かなまち しずくいし の実現に向けて、 自主・自立、人材育成、交流・連携の3つの視 点のもと、5つの施策大綱、12の基本施策、39 の施策に取り組んできた。

施策大綱別にみても成果は確実に表れてい る。環境分野では景観形成、基本計画推進、ク リーンエネルギーなど。

教育分野では小学校適正配置 (統合) 教育振 興運動、文化、芸術、スポーツ、学力向上など。 保健医療分野では、子育て環境、高齢者、障 害者支援、保健福祉充実、医療費無償化など。

産業部門では、農林業、観光、商工業の多面的、 多様化、産地特産の取り組みなど。

防災対策では防犯、災害に取り組み防災設備、 消防施設整備、組織強化に努めた。今後におい ても重点事業を中心に人口減少など新たな課題 への対策や協働のまちづくりに向けて取り組ん でいく。

問 任期余すところ約8カ月、10月まで に深谷町政の2期総括をどう図るか、施政を通 じ本町の魅力、将来像をどのように感じたか。

町長 2期目は新構想として地区別計画、 人口減少対策プロジェクト、官学民連携プロ ジェクトの3つに取り組んだ成果が生まれて来 ており、効果的であったと捉えている。次期町 総合計画策定検討もすすめる。本町の魅力は他 を圧倒する自然景観、まちづくりに積極的に参 加する地元生まれや移住の町民、町内に勤務す る人、皆素晴らしい人間関係を持っている、正 に住民主役のまちづくりが推進できる明るい将 来像が見える。

問 第7次介護保険制度では、保険料は

町長 介護保険料は基準月額で660円値上 げになる。また、利用者負担額は所得により2 割負担から3割負担になる層も出る。

町財政に不安はないか

いくらになるか。

問 町債(借金)が2年連続で増える見 通しで財政に不安はないか。一般会計の地方債 残高は最高で108億円から一時60億円台にま で下がったが、今また90数億円になる計画で 大変な事態だという認識をもって、早急に改善 すべきではないか。

町長 災害が発生したり学校施設を集中的 に整備するとかで結果的に借金として増えるこ ともある。町としては財政の健全化を考えなが ら計画的に地方債発行するつもりだ。

学校給食費助成はどう進展したか

問 将来の雫石を支える子どもたちを大 切に育てる事業である。地元産材の利用拡大等 をやるなどして、給食の大切さと食育教育を充 実させることができる。保護者負担をなくし、 タイムスケジュールを設定することもやってほ しい。

教育長 小学校統合とふるさと納税により 財源を確保し、30年4月から保護者負担を半額 にして、残りは町が助成する。

いを くらい て成 円 のは 値 の



町の介護保険ガイドより

生活交通対策の取り組みは

町民課長/サービスを見直し改善に努める



問 高齢者の免許返納者に対する外出 サービスは。

町民課長 他市町村の事例を参考に、全体 的な特典は考えていかねばならないものと思っ ている。財政負担、運行区域等来年度に全体的 に見直していきたい。

問 住民ニーズ調査はどうするのか。

町民課長 定期的な住民意向調査や利用者 の聞き取り調査実施している。来年度は、NPO 地域づくり支援センター専門員等による調査見 直しをしながら進めたい。

問 路線から遠距離にある地域に対する 交通対策は。

町民課長 路線バスと競合しないように、 きめ細かなサービスが行き届くように路線見直 しをしていきたい。玄関先乗降や予約無し路線 等も考えていきたいと思っている。

火山防災の取り組みは

町の火山防災対策の取り組みは。

10年以降の岩手山火山活動活発化、 町長 26年の御嶽山噴火災害による国・県の上位計画 変更を踏まえ地域防災計画を見直している。本 年1月の草津本白根山噴火災害による国・県の 対応に注視していく。岩手山周辺自治体等によ る岩手山火山防災協議会や当町・仙北市等によ る秋田駒ヶ岳火山防災協議会により火山防災の 連携を進めていく。

西山地区の火山防災の取り組みは。 町長 26年度に火山防災を含めた総合防災 訓練を西山地区を会場として行い、上長山地区 住民や観光宿泊施設の避難訓練や救出訓練等町 民約900名が参加し実施している。30年度も、 町総合防災訓練が西山地区開催となるため、火 山防災を含めた総合的訓練の実施を予定してい る。

防災課長 西山地区については、火山を想 定して避難訓練を行っている。総合防災訓練が 開催されない地区においても、自主防災組織に よる避難訓練をお願いしている。



継続した訓練が防災力を高める

問 七ツ森地域交流拠点施設の工事を受 注した事業者は、受注する資格がないので、対 価約1億2千万円を支払う法的根拠がない。職 員の賠償責任が発生する恐れがある、どう対処 するのか。

企画財政課長 このまま工事を進める。

この工事に対する対価は、民法の領 域で解決するべきでないか。

会計管理者 さまざまな司法判例の例から して、支払いを拒否することはできない。

七ツ森地域交流拠点施設事業を担当 した職員を、なぜ処分する事態が起きたのか。

担当の課長と職員の部分で検証し 副町長 ている。



併設されているお試し住宅

瑕疵ある行政行為の再発防止策は

網張温泉源泉整備事業や七ツ森交流 拠点施設事業の瑕疵ある行政行為の再発防止策 は。

町長 執行体制を見直すなど再発防止に取 り組む。

事務事業の監視機能強化策は

問 七ツ森保育所の不可解な改修工事以 来、いわて雪まつり負担金800万円増など、町 長と一部職員が法令の王道からはずれて、平然 と職務を遂行しているのは遺憾である。事務事 業の監視機能強化策を示せ。

監視機能強化策と言えるものはない。

課長決裁の根拠は

温泉掘削許可申請と手数料 12 万円 の課長決裁の根拠は。



観光商工課長

る。

観光振興上必要と捉えてい

いわて雪まつり負担増は問題ないか

12 月議会で総務課長が課長決裁だと 答弁した根拠を聞いている。いわて雪まつり負 担金800万円増は、予算編成要求要領違反でな いか。

企画財政課長 想定できないことに対応し た。

待機児童の見通しは

町長/前年と同程度と見込んでいる



問 2月1日時点で43人の待機児童と なっているが、30年度の見通しは。

町長 昨年4月は26人の待機児童であっ た。今年4月からの入所希望者は113人で、0 歳児と1歳児で全体の70パーセントを占めて おり、昨年と同程度の待機児童が発生すると見 込んでいる。

保育士の確保が必要と答えているが、30年度に 何を行うか。

町長 保育士の確保を第1と考え、正職員 2人の保育士を採用し、更に臨時保育士の積極 的な確保を目指している。また、0歳から2歳 まで在宅で保育する方に「在宅子育て応援給付 金」を新たに行う。

地域おこし企業人契約解除の影響は

問 28年5月の計画では、第1期工事は 29年度から行う予定であった。移住契約者0人、 地域おこし企業人の撤退、デイサービス計画の とりやめなどで、計画の見直しが必要ではない か。

町長 地域おこし企業人の帰任は非常に残 念。しかし、㈱コミュニティライフしずくいし と地域おこし協力隊が協力し、移住定住促進を 進める。また、帰任した地域おこし企業人との 関係を継続し、首都圏と町との連携強化を図る。

*工程会議の権限に問題はないか

問拠点施設整備における、町公告や実 では、町公告や実 施要項要求水準書の内容を変更する権限は、工 程会議にあるか。

町長 工期中に要求水準書等の見直し、変 更を行うことがある旨を示している。施設の基 本実施計画については、契約制度改革委員会で 協議し進めた。



待機児童ゼロが望まれる町内保育所

*工程会議…工事の行程を確認する中で、発注者と受注者 が工事の状況を話し合い協議する会議

常任委員会報告

総務産業常任委員会

(岩持清美委員長)

調査① 農業委員との意見交換会

不在地主農地の荒廃が心配

去る1月30日、農業委員との意見交換を行いま した。29年度農地利用状況調査結果をもとに、不 在地主農地の荒廃が懸念されることや、結婚相談の 一環として街コンなどの提案もあり、活発な意見交 換を行いました。

調査② 七ツ森ヴィレッジ開発計画について

現在の契約0人

去る2月7日、七ツ森ヴィレッジ開発計画の進め 方について、企画財政課より聞きとり調査を行いま した。その中で、地域拠点施設は「3月定例会」に 設置条例案を提案し、公募のうえ10月正式オープ ンしたいとのことでした。また、七ツ森ヴィレッジ 現在までの契約は0人、地域おこし企業人が12月 末で契約解除したことが報告されました。

広報広聴常任委員会

(山崎留美子委員長)

視察対応横手市議会広報広聴委員と情報交換

30年1月30日、横手市議会広報広聴委員会が来 庁しました。横手市議会では広報と広聴が分かれて おり、今回は広報担当の委員との懇談が行われまし

当議会広報の横書きへの取り組みや、編集体制な ど今後の取り組みも含め多数質問がありました。



活発な情報交換が行われた

教育民生常任委員会

報告 小学校 5 校で閉校式

御明神・西山地区の5校で歴史に幕

3月18日(日)西根小学校、20日(火)御明神小学校・ 下長山小学校、21日(水) 橋場小学校・上長山小学校 で、それぞれ閉校記念式典並びに閉校記念碑除幕式が 執り行われました。

30年度から(新)御明神小学校、西山小学校とし ての新たな歴史のスタートを切ります。



橋場小学校 閉校記念式典



上長山小学校 閉校記念式典

〔横手寿明委員長〕

議会へのひとこと 皆さんの声を聞きました



凪葵さん 晴山 (16歳・晴山行政区)

私たちの声も 聞いて下さい

私は高校生になり、勉強や部活動 だけでなく友人と遊んだり、自分の 好きなことに取り組んだり充実した 日々を過ごしています。

電車と自転車を利用して通学して いますが、帰りが少し遅くなってし まうと、暗く人通りも少ないため怖 く感じます。家の垣根や草木などで 道が狭く、見通しが悪くなっている 路地もあります。どの世代の人でも 安心して歩けるよう街灯や道を整備 してもらいたいです。

そして、雫石には、誰でも使える、 遅くまで開いている施設がありませ ん。私は中学生までは図書館でよく 勉強をしていましたが、雫石の図書 館は17時で閉まってしまうので、 高校生になってからは、盛岡市のア イーナで終電まで勉強してから帰っ てくることもあります。

雫石には、自然にあふれた遊び場 や公園がたくさんあります。天候や 季節を問わず、小さな子供が遊べる ような場所や、何かのついでに立ち 寄れるような場所、誰でも自由に集 えるスペースや、学習スペースのあ る施設があると嬉しいです。今住ん でいる人たちが、もっと雫石を好き になるような町にしてもらいたいで す。



郁子さん (42歳・野中行政区)

地域の 子どもを育てる

子どもが生まれるのと同時に、野 中地区に引っ越してきて12年にな ろうとしています。

野中は教育振興会が町内で唯一 残っている地区で、昨年度50周年 を迎えました。

その節目となる年に振興会長を務 めさせていただき、改めていい所だ なぁと実感する一年でした。

教育振興会は野中地区の全世帯で 組織され、地域全体で子どもを育て る活動を行っています。

春には自治会と一緒に花植えに取 り組み、書初めは地域に住むおばあ さん達に先生になっていただきます。

小正月には老人クラブや地域の方 と一緒に、みずき団子を作ったり、 次の年の豊作を祈るお田植えをし、 餅つきをして一緒に食べながら楽し く交流しています。

先日地域の方から、「お宅のお子 さん、学校に行く時、もっと膝を高 く上げて歩いたほうがいいよ。遅刻 するよ」と、アドバイスされました。 どれだけ遅いのだろう、と思いつつ 見てくれていることに感謝でした。

これからも、子ども達が笑顔で健 やかに成長していける町であって欲 しいと願っています。



善男さん 新田 (66歳・天戸行政区)

中山間地域の 振興策を

私の集落(清水沢)は、戦後に入 植した所で、現在はほとんどが二世、 三世の代になっています。

一世の方たちが鍬一本で林を切り 開き、苦労のすえに開拓した集落で す。今では、区画整理された田んぼ が並ぶ立派な集落です。しかし、残 念ながら空き家や後継者がいない 家、独身の方の家など、このままで は近い将来、限界集落となっていく ように思えてなりません。柔軟な発 想とパワーを持った若い人たちと行 政が一体となって、活気のある集落 へと変わってほしいものだと思いま す。私たちの集落以外にも危機感を 抱いている所も、多いのではないで しょうか。

行政の支援で農業が面白い、希望 いっぱいの、安心して暮らせる町に してほしいものです。地元に残り、 思いっきり農業にたずさわれる若者 を育ててほしいと思います。また、 Uターン、Iターンで雫石に住みた いと思ってもらえるような中山間地 域の活性化に向けた振興策が大切だ と思っています。

町、議会、住民が一体となって取 り組んでいくことを切に願っており ます。

ふるさとへの便り―71

在京雫石町友会 会員 小早志

(旧姓:櫻小路)

私は15才の春に盛岡駅からブラスバンド の演奏に見送られ、夜行列車(集団列車)に 乗り上京しました。不安と期待とで胸がいっ ぱいでした。家庭の都合で進学はあきらめて の就職だったので進学組には負けられないと いう気持ちの旅立ちでした。

夜行列車の中では、あまり眠れず、子供の 頃のことや家族のことを考えていました。

幼いころ、祖母に生卵1個もらいそれを飲 んで元気をつけて、(ねこという農具を背負っ て) 母の居る山に家畜のえさを採りに行った こと。また冬には薪とりに、はこぞりで、ひ とっこひとりいない雪の山に行き、途中で怖 くなり泣きながら帰ってきたことなど。今で はあの頃の思い出や雪景色は宝物です。中学 校では演劇部員として小沢先生にきびしい指 導を受けて文化祭で発表したことがなつかし いです。私たちは30人2クラスで生徒数が 少ない年代で、教室も小さな部屋に押し込ま れたり冷遇された記憶があります。

就職の会社を選ぶときは、途中で挫折する ことの退路を断つ覚悟で、友と一緒でなく、 あえて一人だけの環境に飛び込みました。ア サヒゴム(株)の埼玉吹上工場では5年間働きま した。勤務の合間に近くの高校の先生がきて 勉強を教えてくれました。洋裁・和裁も習い ました。厳しい経験でしたが、自分には前に



右が姉の一枝さん、左が姉のキミ子さん、 中央が筆者

進むしかなかったのでがんばり、その後の人 生にとても役にたちました。

その後、姉のいた東京に新天地を求め、上 京し三越関連の仕事をしました。責任ある仕 事をまかされ、子育てをしながらも精一杯が んばりました。男社会の中でも仕事の面白さ、 やりがいを覚えました。(その間に結婚、出 産等経験。子供2人、孫1人。)

振り返ってみると、いろいろな分岐点で人 間関係に恵まれ助けられた人生でした。

就職する時に友人からいただいたメッセー ジ「この世は一冊の美しい書物である。しか しそれを読めない人間にはなんの役にも立た ない」に感銘し、常にそれを意識し、モットー に生きてきました。一番の多感期にそんな言 葉をくれた仲間と多くを語り合えた時間を持 てたことを感謝し大事にしていきたいと思っ ています。

40代からは弓道を始め、10年間頑張り精 神を鍛えられました。現在の活動は、新婦人 の会新宿支部で子供たちの未来のために各種 活動に参加しています。また活動の一環とし て始めた「日本吹き矢連盟」のサークルで吹 き矢を楽しんでいます。そして町友会の活動 に参加させていただいていることが生活の励 みになっています。



昭和記念公園にて (中央が筆者、右が姉のキミ子さん)

昭和20年八丁野行政区生まれ。4女・1男の5人兄弟 西根小学校-西山中学校-アサヒゴム(株)(現パーカーアサヒ(株))-(株)二幸 新宿区下落合在住。

お嫁さん

お婿さん





※自宅のリビングにて 写真左から 和いを 莉奈ちゃん(9歳)、祐太朗さん、璃咲ちゃん(2歳)、 。 友里恵さん(妻・30 歳)、琉色ちゃん(7 歳)

ご縁があり、町外から迎えられた

[お婿さん]

祐太朗さん(33歳 遠野市出身) (中島行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは?

- 友人を通じて知り合いました。

Q- 雫石町に暮らしてみて、いかがですか?

- 自然豊かで、春夏秋冬を楽しむことができます。子どもた ちが遊ぶ環境も整備されており、子どもたちが笑顔になれる 町です。

Ω- 町へ望むことは?

- 町道での街灯が少ないので、子どもから大人まで安心し て歩けるような道路環境にしていただきたいと思います。

今月の



町スポーツ少年団の キャプテンたち

町体協スポ少担当の 天瀬 亨さん (天瀬行政区)

30年4月8日(日)町スポーツ少年団結団式が、 雫石町営体育館で開催されました。

この日は26団体中13団体が参加し、岩手国体 帯同トレーナーの川崎慎吾氏(安庭行政区)の実 技を交えた講演で身体の使い方・動かし方を楽し く学びました。

表紙の写真は、参加した小学生団体のキャプテ ンたちです。雫石町体育協会スポ少担当の天瀬亨 さん(写真上)は、「ここ5年間でスポ少が7団 体減少した。将来、雫石町からオリンピック選手 や、プロで活躍する選手が出てほしいです。その ために私たちも、スポ少活動を精一杯応援します」 と話す。スポーツ少年団の問い合わせは、町体育 協会 (☎ 692-5030) までお気軽にどうぞ。

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者へ の謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(1月~3月)】

月	3	幸祭費	おネ	呪い、会費			
1月	0件	0円	14件	74,500円			
2月	1件	20,000円	8件	42,000円			
3月	0件	0円	10件	45,000円			
小計	1件	20,000円	0,000円 32件 161,				

※議会の動きは HP に掲載しています。

■ 編集デスク

平昌五輪が無事閉幕しました。日本が冬季五輪で過去最多 のメダルを獲得するなど、喜ばしいニュースが連日届いた一 方で、舞台裏では北朝鮮の周到な米韓離間外交も繰り広げら れました。町内では、3月中下旬西根、御明神、下長山、橋 場、上長山の各小学校の閉校式が挙行されるなど、地域社会 は大変革の秋を迎えております。このような社会環境の下で 遂行される雫石町政について、議会広報を議会と地域やコ ミュニティ、町民をつなぐ媒体として、新しいコミュニケー ションを作り出すことに情熱を注ぎたいと思っております。

(広報広聴常任委員:大村昭東)